

令和4年度 宮崎県高等学校柔道選手権大会 (全国選手権予選)

期日 令和5年1月15日(日) 男女団体試合

会場 ひなた武道館 主道場

男子団体戦 準優勝 / 女子団体戦 優勝 (5連覇)



県高校柔道選手権
最終日

柔道の県高校選手権
最終日は15日、宮崎市
のひなた武道館主道場
で男女団体戦を行っ

た。無差別の点取り試
宮崎日大が5大会連続
合を5人制で実施した
12度目の頂点に立つ
男子は延岡学園が8大
た。
会連続(一昨年は中
男子延岡学園は決勝
止 18度目の優勝。52
で宮崎日大と対戦。1
き以下、63き以下、無
1で迎えた中堅の甲
斐大詩が一本勝ち。副
差別で競った女子は、
勝て小西と激突し
た。0-0の大將戦で
白阪光が一本勝ちし
た。
将・工藤悠祐の優勢勝
ちで勝負を決めた。
女子の宮崎日大は決
勝で小林西と激突し
た。0-0の大將戦で
権を獲得した。

男子延岡学園、女子
宮崎日大は第45回全国
高校選手権(3月21日
・日本武道館)の出場
権を獲得した。
(中野裕一)

4-0 鷗、宮崎日大3-2 白章	佐藤弘	引き分け	小城		
△決勝	延岡学園	3-1 宮崎日大	2-0 鷗、小林西2-0 白章		
○柳本	内股	中武	▽決勝		
佐藤匠	袖釣り込	大西	宮崎日大1-0 小林西		
○甲斐	み腰	河野	福永	引き分け	田畑
工藤	優勢	後藤	三井	引き分け	村岡
			白阪	合わせ技	平野



【男子団体決勝・延岡学園-宮崎日大】
宮崎日大の次鋒・大西(下)が袖釣り込
み腰で一本勝ちする(米丸悟撮影)

宮崎日大・河野翔多主将(男子準優勝)
「大きい選手がそろって延岡学園に対し、が
つがつ戦えた。県総体でリベンジできるよ
う、みんな得意を言い合って力を付けた
い」
宮崎日大・大西弘也(男子決勝の次鋒で
勝利)「(前日の)個人戦で全国を逃した
悔しさをぶつけた。気持ちで絶対に負けな
いように戦った。自信になる」



女子団体を制した宮崎日大 (米丸悟撮影)

「やるしかない」。
0-0で回ってきた女
子決勝の大將戦で宮崎
日大2年の白阪光は腹
をくくった。相手は自
分よりも体重が30き軽
い1年生。「負けられ
ないプライド」を持っ
て前に出た。
小内刈りや内股を繰
り出し、中盤で指導を
奪う。前に出てきた相
手を袖釣り込み腰で倒

重圧の大將戦 白阪勝ち切る

し、寝技との合わせ技
で一本勝ち。三澤寿榮
監督は「重圧のかかる
場面でも、パワフルな攻
撃を貫いてくれた」と
たたえた。
全国切符を手にした
ものの、先鋒・福永葉
子の目に悔し涙が光っ
た。高校の全国大会52
き級で5位に2度なっ
ているエースは、1階
級下の相手に引き分
け。「自分がポイント
を取らないといけない
ために、厳しいことを
言い合える信頼関係が
もつと必要」。福永は
「練習のかけ声から気
持ちを出し、一丸とな
る雰囲気をつくりた
い」とけん引を誓っ
た。(中野裕一)

ハイライト

日大 女子 V5